

Q13. リクセルによる治療はどのような場合うけられるのでしょうか。

A.

リクセルは、長期透析合併症である透析アミロイド症治療に用いられます。透析アミロイド症の原因物質である  $\beta 2$  ミクログロブリン ( $\beta 2\text{MG}$ ) などを多孔質セルロースビーズに吸着させ除去する吸着筒です。リクセルは透析回路に組み込みダイアライザーと直列に接続し使用します。

適用条件としては、長期透析合併症の関節痛を伴う透析アミロイド症で①～③までのいずれの要件も満たしている患者さんに対して、1年を限度に使用できます。

- ① 手術または生検により  $\beta 2\text{MG}$  によるアミロイド沈着が確認されていること
- ② 透析歴が 10 年以上であり、以前に手根管開放術を受けていること
- ③ 画像診断により骨嚢胞像が認められていること

また、透析アミロイド症の症状軽減により、一旦使用を中止した後、再び疼痛などの症状の出現を認めた場合、初回と同じように①～③の要件を満たすことを確認し、1年を限度として使用できます。3度目以降も同様です。

リクセルは  $\beta 2\text{MG}$  だけでなく、IL-6、IL-8、TNF- $\alpha$  などの炎症性サイトカインの吸着除去が可能で、HDFでも改善できない関節痛などが軽減したという報告もあり期待しています。

臨床工学技士